

私が未来の三重県民に伝えたいことは、自分たちの住む場所を当たり前だと思わず、そのあたりの価値に目を向けてほしいということです。三重県には、伊勢神宮や熊野古道など、全国や世界から多くの人を訪れる歴史や自然があります。長い年月をかけて受け継がれてきた文化や景色は、三重県にとって大きな誇りです。しかし、私たちにとっては身近な存在であるがために、その価値や文化の重みを深く考える機会は多くありません。

また、三重県の魅力は有名な観光地だけではなく、海や山に囲まれ豊かな自然、落ち着いて暮らすことができる環境、地域の人同士のつながりの温かさなどの良さもあります。困ったときに声を掛け合える関係や、地域の行事によって生まれる一体感は、安心して生活できる土台になっていると感じます。このような環境は、自然に存在しているわけではなく、多くの人の努力によって守られてきたものです。だからこそ、その価値に気づき、大切にしながら次の世代へ受け継いでいく必要があります。

一方で、地元の良さを守り続けるためには、外の世界を知ること大切だと思います。他の地域や国の文化、考え方に触れる事で三重県の特徴や強み、課題がはっきりと見えてきます。外の世界を知った上で、改めて地元を見つめ直すことで、新しい発想や工夫が生まれ、より魅力的な地域へ発展していくと思います。

未来の三重県民には、地元である三重県を誇りに思いながらも広い視野を持ち、伝統を大切にしつつも変化を恐れない姿勢を大切にしてほしいです。その一人一人の意識と行動の積み重ねが、これからの三重県をさらに魅力のあるものにしていくと思います。